

「地域の会」委員ご質問への回答

(9月12日受付分)

(町田委員)

● 新潟県、柏崎市 に対する 質問

防災計画では避難経路に国道8号線経由の記載が多数ありますが、国道8号線は今でも渋滞が時々発生していますし、特に避難時ともなれば車の集中によって渋滞が発生することは容易に推測されると思います。現在でも高速閉鎖時の国道の混雑はたびたび発生していますし、降雪時における渋滞は激しくなります。そのような時に計画通りの避難が円滑に出来るのでしょうか。そのためにも8号線バイパス工事が迅速に行われて、早期に交通開始が提供される必要を感じます。しかるに、中越沖地震前に一部開通後10数年が経っているのに未だに全線開通がなされないままです。8号線バイパスが防災で重要な役割果たせると思うのですが、なぜ、こんなに時間が掛かっても開通できないのか。8号線バイパスの防災に対する重要度などの位置付けをお聞かせ下さい。(国道は国が作るものです。以外のお答えでお願いします)

回 答

市は、万一の原子力災害に備え、避難・輸送道路の整備・改良が重要と考えています。その根幹的な役割を担う、国道8号柏崎バイパスの全線供用に向けた事業促進が必要です。

延長11kmの大規模な事業であり、橋梁やトンネルなど長期の工事が必要になるところに加え、宝田・茨目間に約20万㎡の膨大な遺跡群が確認されました。そのため工事実施をするにあたり、事前に遺跡調査が必要となり、さらに時間がかかっていますが、現状では宝田・茨目間の遺跡調査も進展し、(仮称)柏崎トンネルの工事も進められています。

こうした状況において、市は国への働きかけを続けており、市民の安全と安心を確保するた

め、原子力災害時の避難に必要とされる道路の整備・改良の重要性について、関係省庁の認識の共有をはかっています。国道8号柏崎バイパスの一日も早い全線供用に向けた事業促進と、予算の長期的かつ安定的な確保を内閣府原子力防災担当及び国土交通省に引き続き要望してきています。